

**2018年1月1日から2022年12月31日の間の  
日中の時間帯に  
高知県幡多地区で救急車要請をされた方へ  
「内科系疾患における Dr ヘリ活用の評価」研究へご協力をお願い**

**1. 研究の概要**

**(ア) 研究の背景及び目的**

Dr ヘリは、特定の病気の場合、陸上の救急搬送と比較して重症の患者さんの予後を改善することがわかっています。現在世界中で Dr ヘリが導入され、その運用の適切性について評価されていますが、わが国では、特に内科系疾患で、オーバートリアージ(Dr ヘリを要請すべきでなかったが要請した症例)やアンダートリアージ(Dr ヘリを要請すべきであったが要請しなかった症例)などを評価した研究がありません。

本研究では、高知県幡多地区で発生した救急車・Dr ヘリ要請のデータを用いて、Dr ヘリ運用の適切性について検討します。

**(イ) 予想される医学上の貢献及び研究の意義**

本研究の成果から、より適切に Dr ヘリが運用されることが期待されます。

**2. 研究の方法**

**(ア) 研究対象者**

2018年1月1日から2022年12月31日の間の日中の時間帯に高知県幡多地区で救急車要請をされた方で、Dr ヘリで搬送された方および救急車で日中に下記へ搬送された方を研究対象とします。

救急車搬送先: 幡多けんみん病院、大井田病院、渭南病院、大月病院、四万十市民病院

**(イ) 研究期間**

倫理委員会承認後～2024年7月31日

**(ウ) 研究方法**

救急車で搬送された患者さんと Dr ヘリで搬送された患者さんの最終的な診断や重症度から、オーバートリアージされている割合やアンダートリアージされている割合を算出します。

**(エ) 研究に用いる情報の種類**

救急出動報告書情報 : 覚知時間、現場到着時間、病院到着時間、天気、生年月日、年齢、性別、通報内容、傷病者発生場所(地域)、事故種別、既往歴、バイタルサイン、搬送先、傷病者接触時間、搬入先病院、病院到着時間、不搬送理由、Dr ヘリ要請の有無、特殊症例・感染症症例の有無

病院診療録 : 生年月日、年齢、性別、主訴、既往歴、バイタルサイン、処置内容、診断名、転帰、在院日数、急変時 code

Dr ヘリ報告書・Dr ヘリレジストリ : 月日、要請機関、出動内容、ランデブーポイント、受け入れ病院、症例概要、要請タイミング、症状、既往歴、病院到着時バイタルサイン、処置内容、診断名、治療、救急外来転帰、入院転帰、在院日数、base 離陸時間、傷病者発生場所、ランデブーポイント、傷病者接触

時間、搬入先病院、病院到着時間

#### (オ) 試料・情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後 5 年間、高知大学医学部臨床疫学講座内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

#### (カ) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における氏名などの情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等(父母(親権者)、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人)を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2023 年 3 月 31 日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様が不利益が生じることはありません。

#### <問い合わせ・連絡先>

高知大学医学部臨床疫学講座

氏名:佐田憲映

電話:(平日:9時~17時)088-888-2918

#### <研究組織>

研究責任者	高知大学医学部臨床疫学講座	特任教授	佐田憲映
研究分担者	高知大学医学部臨床疫学講座	大学院生	松原祥平
	高知大学医学部臨床疫学講座	大学院生	工藤仁隆